株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-78-2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに 日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



証券コード:7867

2011年３月期（第60期）

中間報告書

2010年4月1日～2010年9月30日

TAKARA TOMY

決算ハイライト

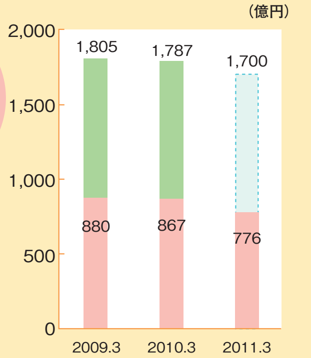
通期実績　第2四半期実績　通期予想

売上高

2011年3月期
776（億円）
第2四半期累計

↑

2010年3月期
867（億円）
第2四半期累計

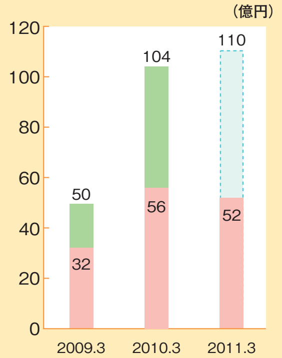


営業利益

2011年3月期
52（億円）
第2四半期累計

↑

2010年3月期
56（億円）
第2四半期累計

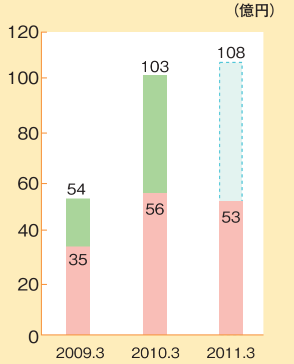


経常利益

2011年3月期
53（億円）
第2四半期累計

↑

2010年3月期
56（億円）
第2四半期累計

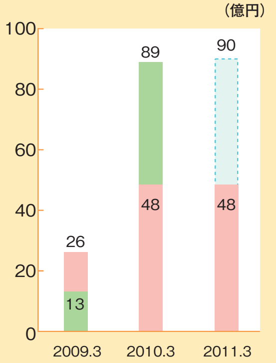


四半期純利益

2011年3月期
48（億円）
第2四半期累計

↑

2010年3月期
48（億円）
第2四半期累計



1株当たり配当金

2010年3月期
5円
第2四半期末

→

2011年3月期
7円
第2四半期末

自己資本比率

2010年3月期
42.5%
期末

→

2011年3月期
44.1%
第2四半期末

ごあいさつ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期は、国内においては雇用・所得環境が引き続き厳しい状況で推移し、海外経済についても、大幅なドル安傾向が続く為替相場や欧州における財政不安など、先行き不透明感が一層強まっており、厳しい経営環境が続きました。

そうした状況の中、上期の業績につきましては、メタルファイト ベイブレードや定番商品などが売上を伸張させましたが、前年同期に急増したトランスフォーマー関連商品の売上反動減や子会社におけるテレビゲーム卸の取扱量減少などにより売上高は前年同期比で減少しました。しかしながら、利益面では昨年来より推し進めておりますコスト管理の徹底や、利益率の高い商品の売上が伸長したことにより計画を上回ることができました。

引き続き当社では、5月に発表いたしました中期経営計画に基づき、「アジア地域の玩具事業拡大」、「ボーイズ商品のグローバル化」、「定番事業の強化・拡大」の3つの重点課題に取り組み、トミカの欧米展開やベイブレードの積極的な海外展開など玩具事業の改革を推し進めてまいります。また、コスト削減への取組みも継続し、併せてグローバル戦略を勝ち抜くために、強固な財務基盤の構築にも取り組み、当社の中期的な経営指標である連結営業利益率8%の実現に向けてまい進してまいります。

タカラトミーグループは、「改革の4年」と位置づけた中期経営計画のもと大きく変革しようとしております。そして、当社グループの企業理念である「すべてのステークホルダーの夢の実現」に向け、中期経営計画のもと、経営に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともさらなるご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長　富山幹太郎

当第２四半期連結累計期間の業績概況

当社グループでは2009年度から2012年度を「改革の4年」と位置づけ、新たな成長ステージに向けた改革を推進するとともに、中期経営計画を策定し経営目標の更なる明確化を図りました。中期経営計画においては、

①アジア地域の玩具事業拡大
②ボーイズ商品のグローバル化
③定番事業の強化･拡大

の3つの重点課題に取り組み、2013年3月期に連結営業利益率8%の達成を目標といたしました。

この結果、当第2四半期の連結売上高は、現代版ベーゴマのメタルファイト ベイブレードや定番商品などが売上を伸長させたものの、前年同期に急増したトランスフォーマー関連商品の売上反動減やその他の玩具販売の減少をカバーするには至らず、また、子会社におけるテレビゲーム卸の取扱量減少により、77,623百万円（前年同期比10.5%減）となりました。利益面では国内における定番商品や国内およびアジア地域でのベイブレードなど利益率の高い商品の売上が伸長したことにより、営業利益5,216百万円（同7.6%減）、経常利益5,317百万円（同5.2%減）、四半期純利益4,873百万円（同0.1%減）となりましたが、第2四半期の当初業績予想を上回ることができました。

国内展開

個別業績については、メタルファイト ベイブレードの国内マーケティング強化策のひとつとして8月の映画公開や店頭イベント拡大等を行ったほか、欧米地域での商品販売の開始にともない、当社よりグローバル商材として順調に出荷することができました。定番商品では、今年40周年を迎えたトミカの国内プロモーションを強化するとともに、7月に発売した「スーパーオートトミカビル」が人気を博しました。さらに、トミカのグローバル展開では、トミカとプラレールを一つの世界観で融合させた商品販売を進めました。

国内子会社で展開する事業については、㈱タカラトミーアーツでは、ガチャ事業およびぬいぐるみ事業の売上が伸長するとともに、㈱トミーテックの鉄道模型などの販売が堅調に推移いたしました。しかしながら、トイズユニオン㈱におけるテレビゲーム卸の取扱量は大幅に減少いたしました。

以上の結果、売上高は70,546百万円（前年同期比12.0%減）となりましたが、営業利益については、ベイブレードや定番商品などの玩具販売が順調に推移したことから6,240百万円（同0.2%減）となりました。

グローバル展開

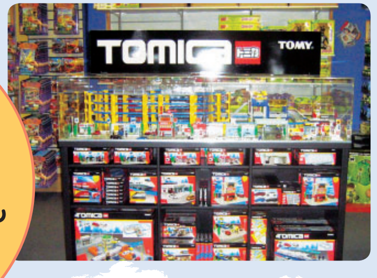
欧州では、南欧諸国を中心とした財政不安定など景気悪化の影響による個人消費の低迷を背景に、主力商品のプリスクール商品の販売苦戦や仕入コスト上昇など厳しい経営環境となり、売上高は4,196百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失51百万円（前年同期営業利益143百万円）となりました。

北米では、トミカの北米市場への出荷がはじまり、9月末からは米国トイザらスでの販売がスタートいたしました。その結果、売上高は473百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益98百万円（前年同期営業損失28百万円）となりました。

アジアでは、8月に韓国ソウルにおいてベイブレードの国際大会「アジアチャンピオンシップ2010」を開催するなど、ベイブレードのアジア展開を積極的に進め、関連商品の販売も好調に推移いたしました。9月には台湾にトミカコンテンツの集積売場「TOMICA SQUARE」をオープンさせ定番商品の拡販を進めるなど、玩具販売は堅調に推移いたしましたが、生産子会社TOMY（HONG KONG）LTD.におけるトランスフォーマー映画関連商品の生産量が減少したことから、売上高は15,091百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益581百万円（同31.7%減）となりました。

TOMICA トミカ　トミカ 海外で本格展開









欧州
販売好調!イベントも

7月よりTOMICA販売開始!

欧州で海外版TOMICAの販売を開始しました。

海外版のTOMICAはトミカとプラレールが一緒になった新しい世界観で北米にも進出しました。

北米
販売開始!



9月よりTOMICA販売開始!

2010年9月より、北米でも海外版TOMICAの販売を開始しました。クリスマスに向けた楽しい売場作りを積極的に行い、早くも人気の兆しが!

アジア
台湾
TOMICA SQUARE

トミカ TOMICA SQUARE

台湾にTOMICA SQUARE オープン!

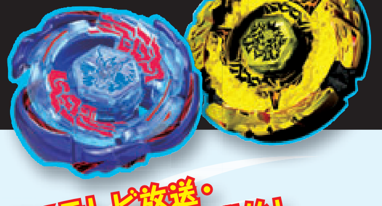
2010年9月10日、台湾の台北市の大型百貨店『新光三越 信義新天地』A8館 5Fにアジア初となるトミカコンテンツの集積売場がグランドオープンし、オープン初日は台湾現地メディアを招待。現地の人気タレントをMCに起用し、大々的な記者会見を行いました。





メタルファイト ベイブレード 爆

タカラトミーボーイズホビー ガンガンホビー







「メタルファイト ベイブレード アジアチャンピオンシップ2010」 韓国・ソウルにてアジア大会を開催!

韓国・ソウルにて、現代版ベーゴマ玩具のアジア大会『メタルファイト ベイブレード アジアチャンピオンシップ2010』が開催されました。当日は、約4,000人の子どもたちが本イベントに来場し、熱戦を繰り広げ、見事日本代表がチャンピオンに輝きました!





全世界でテレビ放送・玩具発売開始!

アジア、北米、欧州を皮切りに全世界で続々とテレビ放送を開始!また玩具も各地で発売が開始されており、ブームとなりつつあります。



KUSABI

投げる!これまでにないフィジカルバトルホビーの登場!下向きに思い切り投げられる爽快感と、ターゲットに当たって発動する驚きのアームギミックを搭載!戦略を駆使したポイントバトルが楽しめます!クサビ本体は、3層構造でカスタマイズ可能!投げ方もさまざまで、コントロール・パワースローなど状況に応じて使い分けることでより奥深いバトルが楽しめます。



クロスファイトビーダマン

ビーダマを発射して的を倒す爽快感が受け、国内外で大ヒットした「ビーダマン」シリーズが、小学館コロコロコミックの大人気漫画「ペンギンの問題」とコラボし装いも新たに復活!パーツを取り付けカスタマイズすることでパワーアップが可能。今回は店頭に設置された筐体「B-太1号」で自分のビーダマンを使ってゲームもできるのが特徴。



ギガテン バギーレーシングタイプ



車両全長約10cm、重量約42gの"超小型軽量ボディ"により、最高時速22kmの高速走行、ジャンプ台による最高到達点約85cmのハイジャンプなどの迫力のアクロバティック走行が手軽に体験できる室内専用R/Cバギーカーです。

チョロQハイブリッド!



ボディ互換により、リモコンとゼンマイの両方で遊べる新世代のチョロQ。小学生を中心とした男児はもちろんその父親の世代にも一緒に楽しまれています。2011年1月にはタレントの所ジョージさんデザインのチョロQも登場予定です。



Love Digi PV Cam





誰でもカンタンにPVのような動画が撮影できる!

PVカム

アニメーションや音楽を合成した"PV"(プロモーションビデオ)風の動画を簡単に撮影することができる、小学生の女の子向けの簡単編集ビデオカメラが登場。「PV Cam」は、動画を撮影するだけでなく、同時にアニメーションや音楽を自動で合成してくれる"PV撮影"モードがついた女の子向けの新しいビデオカメラです。特別な機材や難しい操作は必要なく、ワンタッチで完成して、その場ですぐに見ることができます。

テーマは全部で20種類!



リカちゃんのおかしのおうち スウィーツデコラハウス





スウィーツデコラハウス

2010年10月に新しく登場した、リカちゃんのおかしのおうち。マカロン・クッキー・ホイップいちごなどのパーツや、シールでデコレーションできる、新しい遊びのリカちゃんハウスです。

プリティーリズム ミニスカート





プリティーリズム ミニスカート

10月からプリティーリズムコレクション シーズン2が稼働!AKB48から選抜された新ユニット『ミニスカート』がCGとなってゲームに登場!ゲームでオリジナルソング『ミニスカートの妖精』が流れ、ダンスを踊ります!

また、メモリーパスや収納ファイル・ケース、デコアクセサリーといった関連グッズも続々登場!

ミニスカートのコスチュームがプリズムストーンの仲間入り♥





プリティーリズム プリズムメモリーパス



プリティーリズム プリズムストーン スターターセットDX



プリティーリズム プリズム・デコンパクト&アクセDX



プリティーリズム プリズムストーントランク



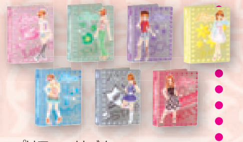
プリティーリズム プリズムストーンデコシール



プリティーリズム プリズムストーンケース



プリティーリズム プリズムストーンファイル



プリティーリズム プリズムストーンプチファイル

社会とともに

共遊玩具推進事業

特別なおもちゃではありません。
共遊玩具は“友だちの輪が広がる”おもちゃです。

社長室　共用品推進課 係長
高橋玲子



Q　共遊玩具が誕生するに至ったきっかけや そのなりたちはどのような経緯だったのでしょうか?

トミー(現タカラトミー)が、障害のある子どもたちのおもちゃのことを考え始めたのは、約30年前の1980年のことでした。これは、トミー創業者の富山栄市郎前社長の経営理念をカタチにしたもので、それを契機に「ハンディキャップトイ研究室(HT研究室)」が設置されました。

しかし、HT研究室で作られるおもちゃは“障害のある子どもたち専用”のものでしたので、市場は狭く大ヒットしても赤字が出るという状態。やがて、80年代後半の円高不況により、活動が難しくなりました。

研究室員が存続のための模索をしていたある日、他部門の社員からの「専用にしようとするからコストがかかるのでは?一般のおもちゃに工夫を施してみたら?」というひと言がきっかけで、専用ではなく誰もが一緒に遊べる「共遊玩具」という現在のアイデアが誕生したのです。



Q　共遊玩具の特長や、一般向け玩具との違いは どのようなものなのでしょうか?

共遊玩具とは、例えば目の不自由な方が手で触って判るように印刷ではなくレリーフを付ける、点字や浮き出し文字を加える、画面表示の変化に応じて楽しい音を入れるなど、一般向けのおもちゃに「障害のある子どもたちも遊べるような楽しい工夫をプラス」したおもちゃです。

開発段階から常に意識することで、コストの増加も僅かで済みますし、何よりも“専用”という垣根を取り払ったことで、より多くの子どもたちがおもちゃを通して自然に触れ合い、仲良くなることにも役立っています。

Q　この度、「トミカおしゃべりあいうえお」が 二つの賞を受賞しましたが、そのご感想は?

当社の「トミカおしゃべりあいうえお」が、今年おかげさまで日本おもちゃ大賞「共遊玩具部門　大賞」および「エデュケーショナル・トイ部門　優秀賞」の二つの賞をいただくことができました。私が一番嬉しかったことは、このおもちゃがまず一般向けの教育玩具としての優秀性を認めていただき、その上で共遊性についても評価していただけたということです。

このことは、本当の意味で「共遊玩具の一般化」へと繋がるもので、今後さらにより多くのメーカーさんやさまざまなおもちゃへ共遊玩具の理念が広がるものと期待しています。開発担当メンバーはもちろん、日本点字図書館をはじめご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

Q　共遊玩具という分野での今後の展開、 および高橋さんの夢をお聞かせください。

日本玩具協会では、旧トミーの提唱で1990年に「小さな凸実行委員会」を開設、さらに2002年には「共遊玩具推進部会」と名称を改め、さまざまな共通基準を作り共遊玩具の推進に努めてまいりました。今後はこの活動をより深く、世界レベルでよりグローバルに展開できたらと思っております。

また視力障害のある私自身としては、1993年の入社以来、学生時代からの夢だった「子どもたちに関わる仕事」につくことができ充実した日々を送っています。これからも共遊玩具の仕事を通じて、障害のある子どもたちとそうでない子どもたちとが共に遊び、共に成長できますよう、私自身も楽しみながらお役に立てればと心から願っております。

● 共遊玩具商品紹介 ●

コロコロあそぼ! トミカおしゃべりあいうえお



© TOMY



ボード上で押した文字や音をくるまが記憶して、くるまを走らせるとしゃべる、新しいタイプのあいうえお学習ボードです。ご希望の方にはボードに貼ることのできる点字シールをお送りしており、目の不自由なお子様もいっしょに楽しんでいただけます。また、ダウンロードしてご利用いただけるテキストファイル版取扱説明書をご用意し、ご両親が目が不自由な場合などにもお役立ていただけるよう願っています。

働き方の改革
「東京都モデル事業プロジェクト」に参画!

タカラトミーグループでは、東京都の推進する「少子化打破緊急対策」の趣旨を受け、子どもたちに夢を与えるおもちゃ会社の社員こそが、いきいきと働くために、子育て支援やワーク・ライフ・バランス等に積極的に取り組むべきと考え、本プロジェクトに参画することを決定し、東京都よりプロジェクト推進企業として選定されました。

本プロジェクトへの参画により社員がいきいきと働く環境を作り、企業として健全な状態を保つことで、グループ全体が大きく飛躍を続けられることを目指し、さらにはその効果を見込む企業や地域へ波及させることで、社会に貢献していきたいと考えています。

目 標

①所定外労働時間の削減
平成25年3月末日までに現在の10%削減を目指す

②有給休暇取得率の増加
平成25年3月末日までに50%を目指す

③男女の育児休業取得率の増加
平成25年3月末日までに、女性100%、男性5名以上を目指す

④在宅勤務制度の導入と定着及び拡大
平成25年3月末日までに、グループ会社を含め延べ120名の利用を目指す

⑤女性管理職割合の増加
平成25年3月末日までに10%を目指す



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末(2010年9月30日現在)	前期末(2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	**65,351**	**62,132**
現金及び預金	21,181	26,929
受取手形及び売掛金	23,760	18,299
たな卸資産	13,330	10,805
その他	7,079	6,099
固定資産	**32,708**	**33,629**
有形固定資産	**19,297**	**19,620**
無形固定資産	**1,989**	**1,809**
投資その他の資産	**11,421**	**12,199**
繰延資産	**103**	**118**
資産合計	**98,163**	**95,880**

科 目	当第2四半期末(2010年9月30日現在)	前期末(2010年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	**30,548**	**29,840**
支払手形及び買掛金	12,394	10,627
短期借入金及び社債	7,665	7,292
その他	10,487	11,920
固定負債	**23,020**	**23,977**
長期借入金及び社債	17,008	17,978
その他	6,012	5,999
負債合計	**53,568**	**53,818**
純資産の部		
株主資本	**47,457**	**43,309**
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	6,744	6,823
利益剰余金	38,573	34,344
自己株式	△1,319	△1,318
評価・換算差額等	**△4,214**	**△2,555**
新株予約権	**312**	**230**
少数株主持分	**1,038**	**1,078**
純資産合計	**44,594**	**42,062**
負債純資産合計	**98,163**	**95,880**

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	前第2四半期累計 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日
売上高	**77,623**	**86,770**
売上原価	51,330	60,260
売上総利益	**26,292**	**26,510**
販売費及び一般管理費	21,076	20,866
営業利益	**5,216**	**5,643**
営業外収益	488	535
営業外費用	387	571
経常利益	**5,317**	**5,607**
特別利益	134	131
特別損失	311	248
税金等調整前四半期純利益	**5,140**	**5,490**
法人税等	276	578
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	33
四半期純利益	**4,873**	**4,878**

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

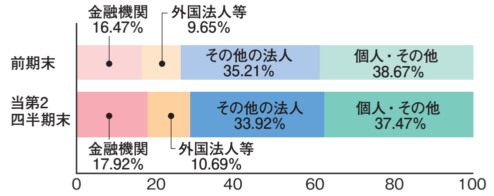
科 目	当第2四半期累計 自 2010年4月 1日 至 2010年9月30日	前第2四半期累計 自 2009年4月 1日 至 2009年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,451	△645
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,007	462
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,900	20,633

株式の状況／会社概要 (2010年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数……………… 384,000,000株
発行済株式の総数……………… 96,290,850株
単元株式数……………… 100株
株主数……………… 68,052名

所有者別株式数比率



大株主

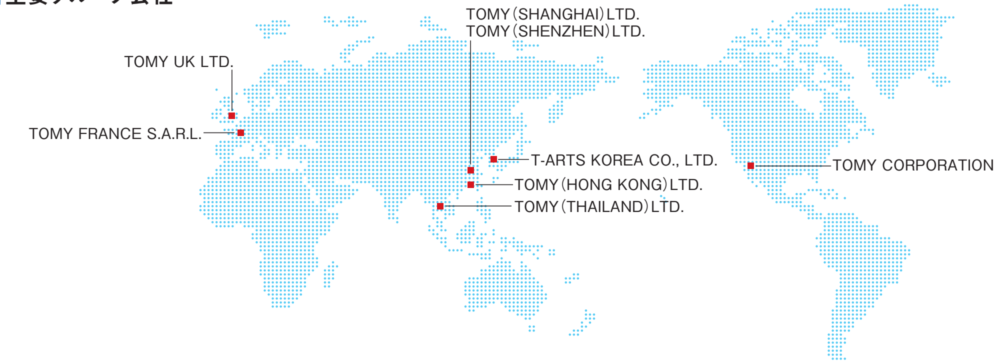
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
丸の内キャピタル第一号投資事業有限責任組合	14,443,700	15.34
株式会社インデックス・ホールディングス	6,707,996	7.12
富山幹太郎	4,799,666	5.09
有限会社トミーインシュアランス	4,619,952	4.90
ティーピージー リッチモント ワン エル ピー	4,450,100	4.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,212,900	4.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,158,200	2.29
富山章江	1,483,101	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,480,900	1.57
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,083,800	1.15

(注)出資比率は自己株式(2,151,547株)を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社タカラトミー	
本社所在地	〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10	
設立	1953年1月17日	
資本金	3,459百万円	
主な事業内容	玩具・雑貨・カードゲーム・家庭用ゲームソフト・乳幼児関連商品等の企画、製造および販売	
従業員数	653人	
役員	代表取締役社長	富山 幹太郎
	取締役副社長	佐藤 慶太
	取締役副社長	奥秋 四良
	常務取締役	三浦 俊樹
	取締役	髙橋 勇
	取締役	眞下 修
	取締役	柳澤 茂樹
	取締役(社外)	津坂 純
	取締役(社外)	石田 昭夫
	取締役(社外)	宮城 覚映
	取締役(社外)	矢坂 修
	取締役(社外)	小島 一洋
	常勤監査役	野沢 武一
	監査役(社外)	梅田 常和
	監査役(社外)	野上 順
	監査役(社外)	水戸 重之
	監査役(社外)	吉成 外史

主要グループ会社



◆国内
株式会社タカラトミーアーツ
株式会社ティンカーベル
和興株式会社
株式会社トミーテック
株式会社竜の子プロダクション
株式会社タカラトミーエンタメディア
トミー興産株式会社
株式会社タカラトミー販売
株式会社ユーエース
トイズユニオン株式会社
株式会社キデイランド
株式会社タカラトミーエンジニアリング
株式会社タカラトミーロジスティクス
株式会社タカラトミービジネスサービス